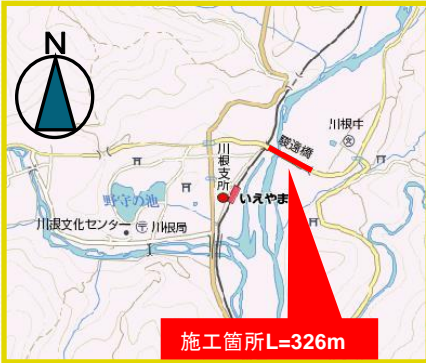


(主) 藤枝天竜線 島田市川根町身成～家山 [駿遠橋 上部工補強工事]

平成25年3月

【位置図】



【現況】



◎採用

検討案1 橋梁用防護柵：10YR6/1 (グレーベージュ)
橋 柵：10YR4/1



検討案2 橋梁用防護柵：10YR2/1 (ダークブラウン)
橋 柵：10YR4/1



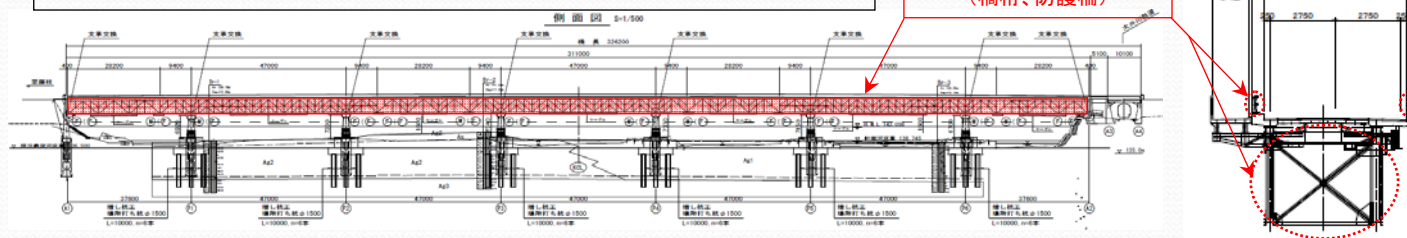
検討案3 橋梁用防護柵：10YR2/1 (ダークブラウン)
橋 柵：10YR5/1



【工事の内容】

(主) 藤枝天竜線(島田市川根町身成～家山) 駿遠橋は緊急輸送路に架かる橋梁で、生活上、防災上において重要な橋梁であり、平成25年度から上部工補強工事に着手します。上部工補強に際しては、現況車道幅員が5.5mで大型車のすれ違いが困難なため、維持管理車両のスペース確保を目的に車道幅員を6.0mに拡幅します。今回の景観検討は『橋桁及び防護柵』が対象とされました。

駿遠橋 7径間連続トラス橋(河川部)L=311m 単純鋼桁橋(跨線部)L=10.1m



ふじのくに色彩・デザイン指針 《 留意事項 》

- 周辺景観や橋梁の色彩に配慮する
柵・防護柵の色彩の調和を図る
- ・エリア区分：河川
 - ・防護柵：連続して見られ塗装面積小
 - ・橋桁：単体として見られ塗装面積大

専門家による色彩検討会 助言

- ・補強による新材と既存の部材が混在することになるため配慮が必要
- ・トラス部材が更に増えるため、色彩は周囲の景観に溶け込ませる方がよい
- ・内部景観として、道路利用者から見た橋梁前後の道路との一体感を考慮すべき

景観検討会議結果

- 色彩パネルによる現地色合わせの結果、周辺環境や下部工コンクリート色に最も調和した下記を採用する。
- ・橋梁用防護柵：10YR6/1(グレーベージュ)
 - ・橋 柵：10YR4/1